

2025.9.18 (木)
第 11 回例会
(通算3820回)

2025-2026 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「笑顔と誇りを胸に、挑戦するロータリー」

会 長 荒井 剛
副 会 長 池田 一己
幹 事 横田 英喜
編集責任者 クラブ会報・雑誌・公共イメージ委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ～ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 三ッ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2025-2026 年度
国際ロータリーテーマ

『よいことのために 手を取りあおう』
UNITE FOR GOOD

2025-2026 年度
RI 会長 フランチェスコ・アレツツォ
第 2500 地区ガバナー
佐渡 正幸 (釧路北 RC)

本日のプログラム 「情報集会報告会」(クラブ研修委員会)

次週例会 「新入会員歓迎会」(クラブ研修委員会・親睦活動委員会)

- ロータリーソング：我らの生業 ■ソングリーダー：須藤 隆昭君
- 会員数 108 名
- ビジター
- ゲスト

会長の時間 荒井 剛会長



皆さん、こんにちは。今日は、ロータリーソングは流しません。今日の例会は情報集会の報告例会となっておりますので、情報集会について簡単にお話したいと思います。

もともと、日本語で炉辺会合と言いますが、英語ではファイヤー サイド ミーティング (Fire side meeting) と呼ばれているそうです。この炉辺会合とかファイヤー サイド ミーティングはロータリークラブが生まれたシカゴで発祥したと聞いております。1935 年のシカゴロータリークラブで新入会員向けに「ロータリーとはこうだ・・・」「ロータリーはこのようなことをやっています」と、少人数を集めて話をするのがスタートでした。それが世界中に広まって、「これは、とてもいいことだ」となり、最初は新入会員向けに、新入会員のリクルートというか、誘うひとつの手段として使っていた、となっているようです。

それが世界から日本に広まって、釧路クラブでもそうですが昔はメンバーの家に行って、みんなでお邪魔する例会が情報集会の成り立ちとしてあったと聞いております。皆さんも今回の情報集会に出られたと思いますが、昔はこうだったよという話もあったと思います。日本のとあるロータリークラブについて、こんな情報集会をやっていますよ、ということを紹介したいと思

います。これは、ここだけのことだと思います。

東京広尾ロータリークラブです。これは唯一、ほかのクラブと違うところがあります。何かというと、例会を日本語と英語の二か国語で必ずやっている所なのです。2000 年に創立したクラブで、いま会員が 34 人くらいとなっています。ホームページを見ても、日本語と英語は当たり前、下にはフランス語、ドイツ語、スペイン語、アラビア語というのも書いてあります。メンバーも、エジプトの方がいたりします。

どんな情報集会をやっているかというと、国際色豊かな料理を持ち寄って、メンバーの所に行行ってパーティをやる情報集会をやっているのが東京広尾ロータリークラブです。

機会があれば、機会があっても行けるかは分かりませんが、一度は広尾ロータリークラブにお邪魔してみたいなと思っておりました。

そんな情報集会のことで今日は、8 グループから先週と先々週に行われた情報集会について皆さんから報告をしていただきますので、楽しみにしております。本日もよろしくお願い申し上げます。

幹事報告 横田 英喜幹事

遅くなりましたが、第 2 回理事会の議事録及び先月後半に行われた臨時理事会の報告をホワイトボードに掲示しておりますので、皆さんのご確認をいただければと思います。

先週の幹事報告でもさせていただきました 10 月にかけてガバナー公式訪問例会、地区大会の案内が流れ

ております。各種、出席の締め切りでは、まだのものもありますが出足に鈍いところがありますので、メールなどを確認して出席できるかどうかの返事をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

■本日のプログラム■ 情報集会報告会

クラブ研修委員会 滝越 康雄委員長

こんにちは。炉辺会合の概略については会長から詳しい説明がありました。8月18日のAチームを皮切りに連日連夜開催した情報集会の内容について各チームより発表をお願いいたします。

時間配分に自信がございませんので1チーム4分で、そして、司会として私が待機しておりますが、次の発表者をお呼びしますので、私の隣にスタンバイしていただきたいと思います。アクセスで往復に1分くらいかかるので、それをスピーチ時間に割り当てたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

全体をまとめましたら、延人数で74名の参加です。研修委員会がダブっていますので実質で69名の参加です。一時は延人数で80は行くだろうと思ったのですが、情勢が変わってこの結果になっております。

それでは、Aチームから発表をお願いいたします。登壇者は藤井敬亮君、スタンバイは佐々木裕章君でお願いいたします。

Aグループ 甲賀 伸彦君



Aチームはグループリーダーの残間さんが今日はお休みです。サブリーダーの藤井さんがお休みで、代打の代打で私がまいりました。これ

は、藤井さんからいただいた書類での発表、これを読ませていただきます。

9月2日、『串焼ワインバル華蔵』さん、前田さんのお店において開催されました。出席者は、吉田秀俊パスト会長、クラブ研修委員会からは高橋パスト会長、残間リーダー、私、中村司さん、藤井さんの6名での開催となりました。

乾杯の後、研修委員の高橋パスト会長より今回のテーマについて説明があり、12年前の第77代会長であった吉田パスト会長に回想を伺いました。当時は、私、甲賀副会長と協幹事という布陣で年に48回ある例会の挨拶はやはり大変だったと仰っておりました。しかし、運営のほうは協幹事の細かい完璧な指示・運営、甲賀副会長の正確で間違いがなく、常に的を得た素晴らしい補助サポートがあった（これは藤井さんが

書いているものです）。そのお陰で本当に助かったというお褒めの話題が続きました。

また、当時のテーマは「ロータリーの挑戦、地域から未来へ」というもので、地域があってこそ活動ができる大切さと、特に子どもたちの未来を常に考えながら任期を務めていた、ということです。

ロータリーカップ・アイスホッケー大会で二軍の方々の起用、あるいは親善野球大会の7分区としての事業化、釧路ロータリークラブ80周年に向けて台北中央ロータリークラブとの姉妹クラブの提携の道筋を固めたことなど、今に続く活動に関われたことに感謝をしておりました。

途中で店のオーナーの前田さんが参加されて、そこで雰囲気が一変しました。前田さんからは、夜のお姉さん事情・就職などきれいなお話です。前田さんのエアバスでの緊急着陸の体験、スキューバーダイビングで死にかけた話など、波乱万丈な人生の一端の話を聞きました。さすが、藤井さんが書かれた原稿です。

今回の炉辺会合の感想として、持っている人は持っているなと思いました。功績にしてもハプニングにしても行動するから結果がついてくる。ロータリー活動においても100人の仲間が力を合わせて行動を起こし、歴史と伝統が継承されていることを改めて知ったところです。

という藤井さんからのお話でした。前田さんのお店でやらせていただいて、二次会にも吉田さんと残間さんと私で参加しました。以上です。

Bグループ 佐々木裕章君



Bグループの報告をします佐々木です。よろしくお願いいたします。

9月4日、四季の味わい『醍醐』さんで開催しました。クラブ研修委員会の滝越委員長、吉田パストガバナー、田中パスト会長を含め、濱口リーダーの下11名で行いました。

中島さんに乾杯のご発声をいただいて、滝越委員長から今回のテーマについて話していただきました。

田中パスト会長から過去のロータリークラブの周年行事についてお話いただきました。70周年では石黒ホーマーの創業者・石黒会長による講演会、その他のアトラクションを行ったこと。80周年では青少年に対する活動として、釧路市生涯学習センターで講師に志田晶先生を招いて、小中学生が参加する講演会を行ったこと等を話していただきました。

吉田パストガバナーからは、50周年、60周年、70周年とさまざまなエピソードを話していただきま

して、「90 周年に向けては釧路クラブらしさを出した周年イベントを行ったらいいのではないか」と話していただきました。

釧路クラブらしさをと考えたときに落ち着いた内容として、著名人を呼ぶのではなくて、ロータリーに関わりのある方を呼ぶ、ロータリーについての講演会を行うなどで 90 周年、100 周年に向けてやってみたらどうか、という意見をいただきました。

その後はお酒も入り、だんだん楽しく団らんをしていて最後に一人一人から今回のテーマについて意見をいただきました。新しいクラブの設立では、「サブクラブとして女性会員 20 名前前でクラブを作ってみてはどうか」「クラブの誕生の意味から、メンバーのために内向きと外向きを両立したイベントをやってみてはいかがか」「歴史と伝統のある釧路クラブは釧路市を動かす方がたくさんいるクラブとして、団結してひとつの方向を向いて行くことが一番大切なのではないか」という話が最後にありました。

感想として過去の周年行事を振り返り、今後の 90 周年、100 周年に向けて美味しいお酒と料理を皆さんで分け隔てなく、真剣にお話できたことが良かったと思いますし、いい情報集会になったと感じました。

報告は以上です。ありがとうございました。

C グループ 田坂 渉君



こんにちは。C グループの報告をさせていただきます。

9 月 3 日 18 時から、炉ばた『居酒屋はたご家』さんで開催させていただきました。

柿田リーダーが身内に不幸があって急遽欠席となりました。大道会員、尾越会員、川島会員、白幡会員、西村会員、村上会員、そしてクラブ研修委員会後藤副委員長に出席をいただき、8 名の参加で開催しました。8 名中 4 名がパスト会長ということから贅沢で素敵な情報集会となっております。

はじめに後藤副委員長から、本集会の趣旨説明をいただきました。4 名のパスト会長がおりますから、4 名から思い出を話していただきました。

2007-2008 年度の白幡パスト会長の思い出です。木下会員を例会で見えて、とても面白いので興味を持ったので幹事に勧誘した。駒形屋でウナギを食べて勧誘したのが良かったのだろう、という話をいただきました。

私が疑問に思ったのは、白幡パスト会長が「人前で話すことが苦手だった。ロータリーで会長をやって、毎回の例会で話したことから話することができるようになった」と言うのですが、多分、もともと上手だった

のではないかなと思っておりました。

また、クリスマス例会ではプロレスのリングを作って行ったという話がありました。後日談では泉先生が少し怒られていたという話もありましたけれども、新しいことにも取り組まれ、少し刺激のある取り組みをされたことも感じられました。

2010-2011 年度の尾越パスト会長からは、尾越会長の時から始まった事業がふたつあるそうです。ひとつは、台北とは交流をしていましたが、調印をしたのが尾越パスト会長の時です。もうひとつが、中学親善硬式野球大会が始まった思い出があるというお話をいただきました。中学親善硬式野球大会は球場がとれなくて、最初の大会は厚岸で開催されたというのですが、「前日まで大雨でとても心配していたのですが、日ごろの行いが実って当日は晴天で成功裡に終わった」と伺いました。台湾との交流では相手に負けないように飲酒をして、我慢をしていたけど帰りのタクシーの中で窓から嘔吐をされたそうです。感じたことは、新しい取り組みをしながら、「負けない」という気概を持っているのが釧路ロータリークラブなのかなと思って聞いておりました。

2015-2016 年度の西村パスト会長の時には、世界大会が韓国で行われたのですが、ここでも負けない気概を発揮して他クラブに負けないように飲酒をしたそうです。当時の高橋副会長がお酒を飲んで、少し酔っていたということで西村会長がホテルの部屋まで送って行かれたようです。その時に、高橋副会長の奥様のネグリジェ姿を拝見したという話をされておりました。スリリングさも味わえるのも釧路ロータリークラブなのでしょう。

2023-2024 年度の後藤パスト会長の時には、コロナ禍で大変でしたがプログラム委員長に若い会員を登用して新しい講話例会を開催しましたという話がありました。また、会計を整理して、今は誰が見ても分かるようになっていきましたと言われました。以外にお金がないので、90 周年の工藤会長の時には大変になるかも、と話されました。

コロナ禍だったので、杉村会長が来られて後藤会長に指名をされたようですが、後藤会長の言葉をそのまま言いますと、「90 パーセントも売り上げが落ちている中で指名をいただいたので、大した根性だな」と思われたという話をしておりました。

しかし、困難を乗り越える勇気を与えてくれるのが釧路ロータリークラブなのかなと感じました。

最後に、情報集会は私のような転勤族にとっては、いろいろな会員の皆さまと交流ができること、パスト会長の話を聞くことでロータリーを知ることができ、有意義なものとなりました。釧路ロータリークラブは斬新、少し新しいことも許容してくれる諸先輩がいるから成り立っているのかなと思っております。

いま、副幹事という役職をいただいておりますが、それを全うできるように努めて行きたいと思っております。以上です。

Dグループ 鬼頭 知彰君



皆さん、こんにちは。Dグループのサブリーダーの鬼頭です。どうぞよろしくお願いします。私は、この7月に歴史と伝統のあるこの本会に

入会させていただきました。ということで、事務局の手違いで無茶振りをされて今回は、サブリーダーで発表を仰せつかりましたのでよろしくお願いいたします。

Dグループは、9月11日に、Aグループと同じく前田さんのお店『炭焼き酒場華蔵』さんで開催しました。お店は9月からリニューアルされて名前が変わったと伺っております。リーダーは岩田さんです。当日は、私を含めて9名が出席しております。

華蔵さんでの炭火焼きの豚肉と鳥串などが大変美味しかったことをご報告させていただきます。さらには、二次会も同じ系列のお店ということで、私も参加させていただきました。

内容のほうです。これ半分、私の独断と偏見が入っていますがDグループの結論としては、「守るべきものは伝統として守り、新しい時代に向けて見直すべきものは見直す」という結論をつけております。それに至ったところを説明させていただきますと、今回のテーマは「90周年に向けて」でしたので、80周年を経験された方が数名おりましたので、そのお話を伺いました。ただ、10年も前のことなので細かいことはよく覚えていないということでした。

「思い返してみると、与えられた役割とか仕事については、転勤族も含めて皆さんがしっかり、かつ、楽しそうにやっていたことが思い出される」と言っておりました。これ、暗に転勤族である私に対して「与えられたものはちゃんとやれよ」と言われているのかなと思っていました。

90周年に向けていろいろ役割分担の話があるようですが、『鱗』さんに行けばもう話題が飛び交っているのだろうというお話もあったと記憶しております。

それから、過去に会長を経験された方もいました。あえてお名前は伏せますけれども、大変なことが多く、結構、ぶち切れることが多かったという話もありますので、きっと今の会長もかなり苦労されているのではないかとお察し申し上げる次第です。

話はそれるのですけど、興味深い話題ということで。

DグループにはNHK釧路放送局の局長さんもおられて、昔のNHK釧路放送局の話になりました。かつては局内に食堂と床屋さんがあったそうです。食堂には高校生もよく食べに来ていたということで、メンバーの中には高校時代に行って食べたという方もいたということです。それから、「NHK釧路局ではニュースになるネタが非常に多くて、記者が鍛えられている」と話されていました。そういうこともあって、転勤で東京に行かれた時に、釧路を経験された方による「東京釧路会」というのがあって、釧路時代の経験を肴に先輩後輩の交流を深められているという話がありました。釧路の良さがとてもうかがえるエピソードだなと思っております。

それでは、まとめますけども、「クラブを継続し、より活発させていくには、古い習慣をやみくもに押し付けるのはいかがなものか」というような意見が多くありました。一方で、継続すべき良い伝統もあるということも再認識した次第ですので、最初に申し上げたように守るべきものは伝統として守り、新しい時代に向けて見直すべきものは見直すというような結論に至った次第であります。

最後になりますけども、私、7月に入会させていただいたばかりで経験も少なく、よく理解していないところがありますので、今回の発表の中でご無礼な発言があればご容赦をと思っております。以上です。ありがとうございました。

Eグループ 篠原 信雄君



Eグループの発表させていただきます。

釧路労災病院の院長篠原です。

Eグループは9月4日、『ぼくぜん運動公園通店』で炉辺会

合を行いました。当日は白幡博パスト会長、脇弘幸パスト会長、後藤公貴パスト会長の3名のパスト会長をお迎えして全部で9名、非常ににぎやかに素晴らしい料理を楽しみながらお話を伺うことができました。

この3名のパスト会長のお話を聞いていて、本当に会長という仕事の責任の重さとその大変さ、それをマネジメントする大変さというのを話の中から分かることができました。自分も同じような立場でいろいろと見ているときに、会長というのは、責任という重荷に耐えつつ、さらに新しいものを発展させようということで大変なことがよく分かりました。

このような地道な努力、そして実績の積み重ねが90周年を迎える釧路クラブの土台をなし、クラブの発展に大きく寄与したのだと感じております。多くの話の中から時間の問題もありますので、ふたつを取り上げ

てみんなで議論したことを話したいと思います。
ひとつは、今後の釧路クラブのあるべき姿についてのお話でした。その中で一貫していたのは、この釧路クラブというのは全体的に非常に雰囲気の良い、付き合いの良い仲間が集まるという人間関係の良さがあるということです。僕も去年の7月に札幌から転勤で来たわけですが、本クラブは転勤者を非常に温かく迎えてくれて、人間関係についても非常にフラットな関係が築かれています。会員の増加というのは大事なクラブの目標だと思いますけども、これを継続することで会員の増加には大きく寄与するだろうと思われました。

ふたつめです。これはとても大事なことと思っていることで、来たる90周年に向けた意見です。これはパスト会長の3名の方から強くお話をいただいております。90周年に向けて大事なことは、会長の思いを具現化するのが私たちメンバーの仕事である。そして90周年の後に100周年のイベントが10年後に控えています、「100周年を意識して90周年をこじんまりまとめることはやるべきではない。しっかり90周年をやったほうがいいだろう。特に100周年の中心になる若いメンバーに経験を積ませるべきである」ということで、「90周年と100周年を上手く連結させることが非常に大事なのではないか」と述べられております。

これがEグループのまとめの内容だと思います。これを心に90周年、そして100周年をこれからみんなで作り上げていくのが大事な仕事なのかなと思っております。

まだまだ話は尽きませんが、私も実は酒が好きで、焼肉も大好物で、DMの可能性があるので、少し食事制限をしているのですが、途中から制限なくなってしまうました。それから、あるはずのアルコール制限もなくなりました。実は、途中から意識があまりなくて、ましてや、谷川君に『森伊蔵』を出されてしまったので、その一升瓶を飲んでしまったので、もう途中から記憶がないのです。

いろいろな方からいろいろなご意見をいただいて、これを作りましたが、自分も釧路クラブに入って本当に良かったと思いました。このメンバー、この先輩たちが、私たちを支えてくれているのだなど。同時に、僕も釧路にいた間には、仲間のみんなと付き合いがたいと思います。これが最後のまとめです。ありがとうございました。

Gグループ 羽田 尚弘君

こんにちは。Fグループ情報集会の報告をさせていただきます。9月10日に『めぐりあい』さんで行わせていただきました。Fグループは天方パスト会長、高橋パスト会長、荒井現会長の3名が出席されて、総勢



10名で行いました。いろいろとお話を聞くことができたのですが、すけども、大きく3点にまとめさせていただきました。

1点めです。釧路には7つのクラブがある中で、釧路クラブの会長は多くの行事に招かれ、地域の中では重要な立ち位置にあると伺いました。これは長年にわたり、地域社会に貢献して来た諸先輩の努力が歴史と伝統を作り上げていることを改めて実感いたしました。

2点めです。会長経験は大きな学びの機会であり、経験者でなければ分からないことが多いため、貴重な経験を若い会員に伝えることで、クラブの魅力をより一層理解していただけるのではないかとのお話もありました。

最後の3点めです。これから迎える90周年事業に向けては、ロータリーを通じて多くの人とつながりながら、その歴史と伝統を若い会員に継承して、クラブの存続と発展につなげていただきたいという意見がございました。

簡単ですが以上です。ありがとうございました。

Gグループ 田中 弘明君



こんにちは。Gグループの八喜寿司・田中です。代打の代打で得地さんから原稿を預かってまいりましたので代読させていただきます。

リーダー、サブリーダーともに本日欠席であることをお詫び申し上げます。

さて、Gグループの当日出席者は、開催趣旨に反して残念ながら入会年度の若い会員がいないということから、寂しいものでした。しかしながら、青田さん、舟木さんのお二人にクラブ研修委員会の滝越委員長を加えると、3名のパスト会長をお迎えして、和やかな中にも出席者をピリッとさせるオフレコ、特にこの場では絶対に無理な発言もあり、有意義で楽しい時間を過ごせたと思います。

さて、難しい字が出てきましたね、さすが得地さんですね。雑駁ながら、発言要旨をまとめると、70周年時の会長だった青田さんを中心として話が進みましたが、開催に向けて緊迫した局面があったことなど、我々の世代では知りえない当時のお話を聞くことができました。

また、印象的だったお話は、例会での緊張感が今とは全く違ったとのこと。今の緩い感じが大好きな私

だったら、間違いなくすぐに退会していることでしょう。ただ、その中で出ていた「だれか厳しい人が何人かいると、違って来る」との話には共感できるところもありました。

例会はあくまでも、出席してなんぼですので、現状の残念ながらの低い出席率を上げていくことは退会防止などの観点からも大切なことだと思います。「例会出席率向上のためには、出席したいと思わせるプログラムと居心地の良さ、力まないでいられる居場所であることも必要であり、また、異業種であり利害関係がなく、いろいろ相談できるような仲間ができることがロータリーの魅力である」との話も当たり前ではありますが、当たり前のことを当たり前に実践する大切さを改めて感じた次第です。

最後になりますが、今回、清水さんにも出席していただいたので、故清水パストガバナーの思い出話に花が咲いたこともとても嬉しく楽しい時間でした。

以上、簡単ではありますが、Gグループの発表といたします。いつも長い原稿を書いてしまい、早口でも時間オーバーになってしまいましたが、今回は大丈夫かと思えます。ありがとうございました。

得地さんからの原稿でした。ありがとうございます。

Hグループ 米本 富夫君



Hグループは、『瓢』において9月8日にクラブ研修委員会副委員長の後藤君が参加され、グループメンバー11人の参加と合わせて

12名で開催されました。

今回のテーマ、「90周年を迎えるにあたって」で始まりましたけども、最初はそういう話にはならなくて、登山の話で盛り上がりました。最終的には「皆さん、富士山に登ったらいいのではないかな。ご来光を見て下さい」という旅行の話が多々ありました。その他にも雑談ではないのですが、多くの時間を使ってお酒も入り、終わり近くなってから本題のテーマになってきたのです。

その中で、釧路クラブの良いところ・悪いところという話が数多く出ました。悪いところはあまりなくて、ただひとつ工藤会員が「年寄りをもう少し大事にしてほしい」という要望を出しておりました。

逆に良いところとしては、「釧路クラブには個人個人が縛られない空気感がいい」、「今の会員数が理想に近いのではないかな」、「各メンバーの志が高く、意識が同じ方向に向いている感じがした」という話が出ました。それと、「クラブ内に派閥がない」という意見もありました。余談なのですが、某クラブでははっきり

と派閥があり、ご意見番として目を光らせているし、会議のときには某氏が必ず議長をやるというクラブもあるそうなのです。それに比べると「釧路クラブではそのようなことがなく、とてもフランクで素晴らしい」という意見も出ました。

最後に杉村パスト会長から「これからの釧路クラブの在り方として、親睦と奉仕がひとつのテーマとして大事ではないか」と述べられました。親睦とは、個々の心を豊かにすることであり、また奉仕とは、われわれがロータリー活動から学んだことを日常に持ち帰り、いろいろなことを還元していくことが大切です。この釧路の地域の人々から喜んでもらえる社会を作っていくことがロータリー活動の目標のひとつではないかとなりました。

その他、いろいろな話がありましたが、今後より一層釧路クラブの良い所を伸ばして90周年に向かって行こうという結論になりました。

以上、Hグループの報告でした。ありがとうございます。

クラブ研修委員会 滝越 康雄委員長

発表者の皆さま、
どうもご苦労様でした。

研修委員会からです。今回の開催で、私は企画を7月になってから組んだの



ですが、ちょうど同窓会の案内が来る時期だったので、これで行こうと骨組みを決めてこのように行いました。

とても苦労をしたのですが、必ず皆さんには仲間がいるので、そのチームの一人を呼ぶともう一人来るというのを落としどころにして、あとは、キャラの明るい人、重鎮、いろいろなポイントで行いました。

また、下期で行いますので、どのように構成するか一生懸命にやりたいと思いますので、年を越してからの情報集会にご参加の程、よろしくお願いいたします。